

# 全四年生ハノシルハノ主体的 参加の中で就職事務実施を勝ちとろう

全學の尊友諸君、とにかく四年生の諸君々、現在學校當局の卑劣極まりにてわれわれの斗争に対する破壊策動にもかかららず、文學部自治會の本館封鎖をも含むストに続ひて、農學部・理學部もストに立ち上つた。明確に全學ストの實体がからとうやつである。そして、四連協は、こうした斗争の方面性の中に四年生自らが斗う主体として登場することになつた。就職事務実施等四年生の特殊的問題の眞の、即ち三年生以下との連帶した形での解決があるのだといふことを訴えたい。

## △就職事務実施は可能なのだ

四連協は、六月二十八日結成以来、學校當局・文學部委員会と數回にわたつて、就職事務実施の交渉を行つて来た。われわれは、日を決めて一定時間にて、争奪あるいは四連協の立ち合いで就職事務実施するという案を提示した。補導課設置ではこれと認める方向であつた（その事実は明らかに就職事務実施可能を示している）。にもかかわらずそれが牛層部からの圧力によつて本館封鎖による事務機能のストップとなり状態では一つだけ別にしてだまされたりといふ理由で拒否されたのである。また、文學部委員会も基本的には同じ理由で拒否してきた。この事実は、われわれの斗争破壊策動以外の何者でもない。われわれの解決の指向性は、就職事務実施を學校當局にわれわれ四年生の終意を結集して迫り斗うことであり、断じて本館封鎖解除ではないのだ。

さうして、理・教育学部では、教官が個人的に就職關係必要書類を作成しておる、文學部委員の中にも「のぞみ」とを行つてゐる教官がいるといふことに對して、断乎として糾弾する。前進によるのだ。

本日、都立西ヶ丘高校をはじめ多くの中高級で教育実習第2次オリエンテーションが行われる。これに向けて四連協では、二十九日の付属中高の時と同様本館前総決起集会をもつて臨みたり。オベの四年生に「のぞみ」集会に結集するよう呼びかけます。